2018
2019

ご支援の皆様へ

2018年度 活動報告書
2019年度 活動計画書

2019.06.30／02

特定非営利活動法人 子どもデザイン教室
小規模住居型児童養育事業 こどもサポートホーム

はじめに

●教育と養育の融合をめざして

皆様、いつも暖かなご支援を本当にありがとうございます。お陰様で2018年度の活動を無事に満了することができました。2018年度は、①7つの新レッスンをやり遂げ、②レッスンのマニュアル化を完成させ、③小規模住居型児童養育事業「こどもサポートホーム」を開設することができました。これらをもって年度当初にお約束した「子どもの王国構想」を実現することができました。

これもひとえに皆様のお力添えのお陰です。小規模住居型児童養育事業「こどもサポートホーム」は私の長年の夢でした。この事業により、今後は児童教育と児童養育の両面から子どもの諸問題に取り組むことができます。2019年度からは、これからの児童教育と児童養育のあり方を実践し、書籍化することで普及にあたっていきます。

児童養護問題を考えるとき、不足しているのが教育の視座です。施設や里親などの養育者には教育者としての視座が必要であり、逆に教員などの教育者には養育者としての視座が必要であると考えます。しかし、これは社会的養護児童に限った話ではなく、一般家庭においても同じことだと思います。そんな提言を子どもデザイン教室とこどもサポートホームでの実践を踏まえて学論化していきます。

さて、ここに2018年度の活動報告書と2019年度の活動計画書をお届けします。ご高覧くださいますようお願い申し上げます。こうした活動ができるのも皆様のご支援あってのことです。これからも子どもたちの未来にむけて力を尽くしてまいります。これからもより一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 子どもデザイン教室
代表理事 和 田 隆 博
小規模住居型児童養育事業 こどもサポートホーム
代　　表 和 田 隆 博

目　次

2018年度 活動報告書

教育支援：子どもデザイン教室事業の活動報告……04

自立支援：子どもデザイン基金事業の活動報告……15

養育支援：こどもサポートホーム事業の活動報告（個人事業）……18

2018年度 決算報告書・貸借対照表……20

2019年度 活動計画書

教育支援：子どもデザイン教室事業の活動計画……23

自立支援：子どもデザイン基金事業の活動計画……29

養育支援：こどもサポートホーム事業の活動計画（個人事業）……32

2019年度 活動予算書……34

2018年度 活動報告書

教育支援：子どもデザイン教室事業の活動報告

●事業概要

子ども、とりわけ親と暮らせない子どもの「自己肯定感を育てる」ことを目的に、お絵描きから自立支援に繋がるデザイン教育を実施しました。これは、①幼保育園児・小学生向けに造形工作の楽しさを体感するレッスン、②小学生・中学生向けに商品を企画・制作・販売するレッスン、③中学生・高校生向けに国語の聞く、話す力を育てるレッスン、④高校生・大学生向けに自分の将来を設計するレッスンと、4種類のカリキュラムでした。

さらに、児童養護施設・里親関連機関と共同し、出張レッスンと2つの特別レッスンを開催しました。ほかにもカリキュラムのマニュアル化を完了しました。

●事業成果

参加人数は147人（一般家庭児童65人・支援家庭児童82人）、延べ人数3,428人（一般家庭児童2,321人・支援家庭児童1,107人）でした。延3,428人の子どもに対して190日・440回のデザイン教育プログラム「遊び×学ぶレッスン」を開催しました。その結果、10段階評価で1級～3級が94%という習熟度成果を得ました。

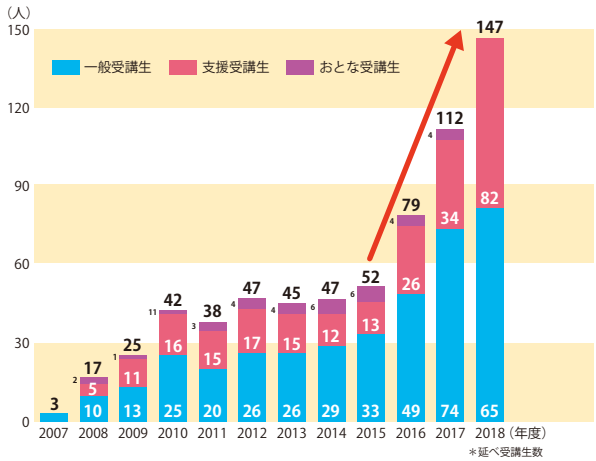
また、受講生の満足度も94%（アンケート回答者合計2,682人に対して満足度70%以上と答えた児童2,521人）でした。「知らん、わからん」の否定語、感情語ばかりだった子が、メモを取り、人の話を聞き、自分の意見を言うようになりました。自信が持てるようになった子もいます。このように子どもたちの自己肯定感を育てることができました。

参加人数 **147** 人	レッスン日数 **190** 日	満足度 **94** %
延べ人数 **3,428** 人	レッスン回数 **440** 回	

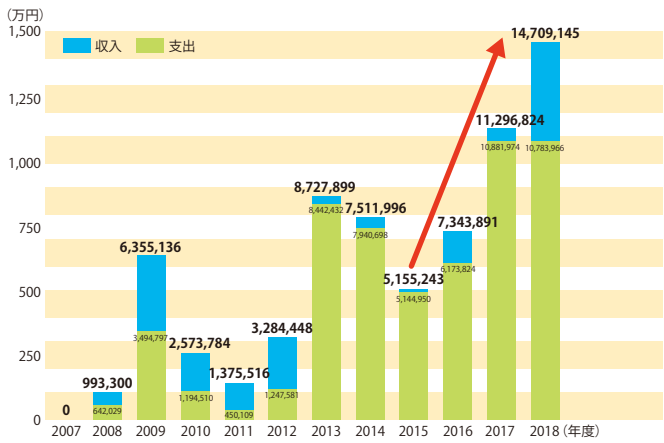
●目標の達成状況

○受講生数の達成率＝113%／目標130人に対して147人
○実施回数の達成率＝106%／目標414回に対して440回
○習熟度1級～3級の達成率＝104%／習熟度10段階評価で1級～3級の目標90%に対して94%
○満足度の達成率＝104%／目標90%に対して94%

受講人数の推移



収支の推移



●2018年度の報告

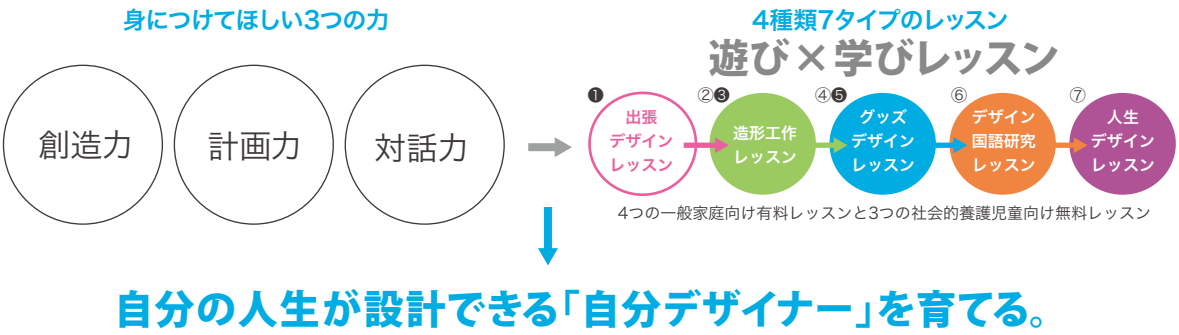
○収入＝14,709,145円／前年13,294,304円・前年比106%
○内訳＝教室：　5,769,132円
　　こどキャラ：　544,056円
　　助成金：　4,128,000円
　　寄附：　3,706,507円
　　雑収入：　561,450円
○支出＝10,783,966円／前年13,186,680円・前年比82%
○内訳＝人件費：　4,695,269円
　　管理費：　3,466,968円
　　消耗品費：1,310,279円
　　外注費：　711,250円
　　支援基金費：600,200円
○利益＝3,925,217円／前年107,624円・前年比365%

●レッスンの狙い

2018年度、子どもデザイン教室では前年度までのレッスンスタイルを変更し、①創造力・計画力・対話力を身につける。②自己肯定感を高める。③自分の将来がデザインできる人になる。の3点をゴールに、4種類7タイプのレッスンを実施しました。それは、①お絵かき・立体などのモノ作りを楽しむ「造形工作レッスン」、②キャラクター商品を作って売る「グッズデザインレッスン」、③聞く、話す力で論理思考を高める「デザイン国語研究レッスン」、④小さな目標を達成しながら自分の将来を設計する「人生デザインレッスン」の4種類でした。

このカリキュラムの背景には、頭脳労働者がますます必要とされる社会の到来があります。2045年には人工知能が人間の知性を上回るシンギュラリティ（技術的特異点）が来るといわれています。コンピュータの発達と共に、デザイン（企画・設計）力が求められる時代だからです。子どもデザイン教室のレッスンは、ただ楽しい、面白いだけではありませんでした。子どもたちにあえて困難な課題をだしました。この課題を通して、子どもたちは創造力を豊かにし、企画・設計力を駆使し、共同的に対話し、困難を解決する方法を学びました。

当初、子どもたちは創造することも、努力することも、対話することも苦手でした。しかし、それは子どもたちの能力の問題ではなく、単に経験がないだけのことでした。教室での経験が子どもたちの自己肯定感を高め、勉強や生活をよりよくする力の基礎になったことでしょう。そして、おとなになったとき、自分の人生が自由自在に設計できる人「自分デザイナー」を育てることが、レッスンの最終目的でした。子どもデザイン教室は単なるお絵描き教室ではなく、デザイン教育であらゆる物事をデザイン（企画・設計）できる人を育てる学習教室として機能しました。



❶出張デザインレッスン

わざわざ子どもデザイン教室まで出掛けなくても、児童養護施設で子どもデザイン教室のユニークなレッスンが体験できる出張デザインレッスンを開催しました。レッスンのショーケースとして、本レッスンへの誘導を計ると共に、児童養護施設や里親関連機関との連携を深める役割にもなりました。

○日程＝日曜日13:30〜15:30
○受講の目安＝小学生（社会的養護児童専用）／年6回開催
4月　「キャラクターをデザインしよう」
5月　「キャラクターをデザインしよう」
7月　「キャラクターをデザインしよう」
8月　「キャラクターとアクセサリーをデザインしよう」
2月　「チョコたばをつくろう」

●参加者の声〈出張デザインレッスン後の保護者の振り返りより〉
○子どもは参加に否定的だったので最初は心配しましたが、自由にさせて頂き、すごく楽しんだようです。里親としても子どもにいろんな発想力があるのでびっくりでしたし、可能性は自由にさせることで生まれるということが実感できました。（子供の家にて）
○子どもとはじめて絵と文字を書くという良い経験が出来ました。これをきっかけに画用紙と鉛筆を持たせて一緒に色々描いていこうと思います。（子供の家にて）
○日頃は家の中ではやりたい放題で手のかかる子の里母です。今日は初めてで緊張しましたが、作品作りが進むにつれて集中して取り組み、作文を6枚も書くなど驚きました。（子供の家にて）

②造形工作レッスン

創造することの喜びを体験するために、お絵かき・立体などの造形工作を楽しみました。2019年3月23日㈯・24日㈰に参加型展覧会を開催しました。対話が苦手な子にも配慮し、自分だけの世界を創造し、自分の考えを絵や文字で伝えられる力を育てました。

○日程＝毎週土曜日9:00〜10:00・10:15〜11:15(各1時間・月4回)
○受講の目安＝幼保育園児・小学生／年96回開催

4月　「自己紹介」	10月　「アクセサリーをつくろう」
5月　「花とみどりと」	11月　「あきをつくろう」
6月　「雨あめふれふれ」	12月　「クリスマスをいわおう」
7月　「ほにゃららをつくろう」	1月　「ふゆをつくろう」
8月　「水族館をつくろう」	2月　「はるをつくろう」
9月　「お菓子をつくろう」	3月　「はっぴょうかいをたのしもう」

❸造形工作特別レッスン

社会的養護児童専用に開催した創造デザインの特別レッスン。創造することの喜びを体験するために、お絵かき・立体などの造形工作を楽しみました。2019年3月23日㊏・24日㊐に参加型展覧会を開催しました。対話が苦手な子にも配慮し、自分だけの世界を創造し、自分の考えを絵や文字で伝えられる力を育てました。

○日程＝毎月毎2土曜日13:30～15:30(2時間・月1回)
○受講の目安＝幼保育園児・小学生(社会的養護児童専用)／年12回開催

4月　「自己紹介」	**10月　「アクセサリーをつくろう」**
5月　「花とみどりと」	**11月　「あきをつくろう」**
6月　「雨あめふれふれ」	**12月　「クリスマスをいわおう」**
7月　「ほにゃららをつくろう」	**1月　「ふゆをつくろう」**
8月　「おかしをつくろう」	**2月　「チョコたばをつくろう」**
9月　「アクセサリーをつくろう」	**3月　「はっぴょうかいをしよう」**

●参加者の声〈参加型展覧会後の保護者の振り返りより〉

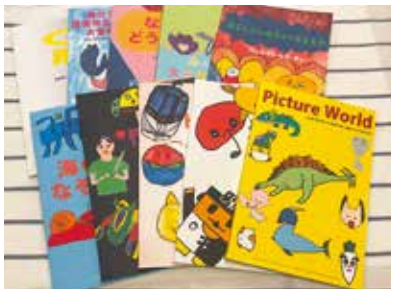
○子どもたちが楽しそうに取り組んでいて、日頃のレッスンの風景の様子が浮かびました。人前で話すことが苦手な子が「恥ずかしい」といいながら、堂々と発表している姿に感動しました。(Bさん)

○普段は恥ずかしがり屋で発表などなかなか出来ない子どもたちですが、温かい雰囲気の中で参加しやすかったようで、とても楽しんでいたようです。(Mさん)

○目的をもったお絵描きがとても楽しかったです。2回、3回と行うことで、もっと得点できるような工夫を自然としていくようになるんだなと。自分の描いた下絵の情報を整理することで、本番の時により特徴を強くした絵を描いている子がいてびっくりしました。(Mさん)

④グッズデザインレッスン

2019年3月23日㊏・24日㊐の商品販売会に向けて、キャラクターグッズを企画・製作しました。自分だけのキャラクターをデザインし、葉書・ピンバッジ・お人形・レジンなどの商品にしました。創造力を育て、計画的に行動し、皆と対話する力をつけることで自己肯定感を高めました。



○日程＝毎週火曜日・木曜日16:30〜17:30・18:00〜19:00
毎週土曜日11:45〜12:45（各1時間・月4回）　○受講の目安＝小学生・中学生／年192回開催

4月　「キャラクターをデザインしよう」
5月　「ピンバッジをデザインしよう」
6月　「葉書をデザインしよう」
7月　「絵本をデザインしよう」
8月　「絵本をデザインしよう」
9月　「お菓子をデザインしよう」
10月　「絵本・バッジ・グッズをデザインしよう」
11月　「アクセサリーをデザインしよう」
12月　「クリスマスをデザインしよう」
1月　「お人形をデザインしよう」
2月　「日用品をデザインしよう」
3月　「お店をデザインしよう」

❺グッズデザイン特別レッスン

社会的養護児童専用に開催したグッズデザインの特別レッスン。2019年3月23日㊏・24日㊐の商品販売会に向けて、キャラクターグッズを企画・製作しました。自分だけのキャラクターをデザインし、葉書・ピンバッジ・お人形・レジンなどの商品にしました。創造力を育て、計画的に行動し、皆と対話する力をつけることで自己肯定感を高めました。

○日程＝毎月毎3土曜日13:30～16:30（3時間・月1回）
○受講の目安＝小学生・中学生（社会的養護児童専用）／年12回開催

4月　「キャラクターをデザインしよう」
5月　「ピンバッジをデザインしよう」
6月　「葉書をデザインしよう」
7月　「絵本をデザインしよう」
8月　「絵本をデザインしよう」
9月　「お菓子をデザインしよう」
10月　「絵本をデザインしよう」
11月　「アクセサリーをデザインしよう」
12月　「クリスマスをデザインしよう」
1月　「お人形をデザインしよう」
2月　「日用品をデザインしよう」
3月　「お店をデザインしよう」

●参加者の声〈グッズデザインレッスン 商品販売会後の受講生の振り返りより〉

○今日の販売会はとても楽しかったです。なぜなら、いろんな人が沢山買ってくれたり、見てくれたりして他の人と協力できたからです。最初ははずかしかったけど、なれてきたらはっきり話せるようになりました。（Gちゃん）

○販売会はよく売れてよかったです。なぜなら、去年よりも工夫をしたからです。（Fちゃん）

○1年間色々あったけど、無事に売れて本当によかったです。（Yちゃん）

○今日は自分の作った作品が売れて良かったです。なぜなら人と協力したからです。ともに協力することで売り上げが上がって良かったです。（Kちゃん）

○今日は緊張しましたが、お客さんがたくさん来て、とてもうれしかったです。（Iちゃん）

⑥デザイン国語研究レッスン

論理的な思考力、人の意見を聞き、自分の意見を話す能力は、困難を乗り切る力として重要です。そこで中学生・高校生を対象に、論理的に聞き、話すコミュニケーション能力を育て、自己肯定感を高めるレッスンを大阪府立大学 人間社会システム科学研究科のご協力で開催しました。2019年3月21日㊍に体験型発表会を開催しました。

○日程＝毎週金曜日18:00～19:30(1時間30分・月4回)
○受講の目安＝中学生・高校生／年48回開催

4月　「説明する」	**10月　「絵本のプレゼン」**
5月　「説明する」	**11月　「説得する」**
6月　「共感できる」	**12月　「ディスカッションする」**
7月　「共感される」	**1月　「ディベートする」**
8月　「絵本のプレゼン」	**2月　「ファシリテートする」**
9月　「絵本のプレゼン」	**3月　「発表会をする」**

●前半を締めくくる発表会をしました。

10月19日㊎・26日㊎、子どもデザイン教室にて「子どもがする絵本のプレゼンテーション 言葉で描く絵本の世界」を開催しました。各日3人の中高生が1冊ずつ選んだ絵本の魅力をプレゼンテーションしました。

どんな絵本を選び、そこから何を感じ、何を伝えたいのか？半年間のデザイン国語研究レッスンの成果を発表しました。中高生が聴衆を理解し、また聴衆から理解される。そんな共感を生み出さすことを本会の目的としました。

⑦人生デザインレッスン

人生100年時代、高大生が「自分デザイナー」として生きていく上で必要な生活術を学び、これからの社会構造がどうなっていくのかを対話を繰り返しながら考えていきました。自分の夢を実現するために今、何をすべきかを考え、毎回、進捗状況を発表しあうことで、少しずつ夢に向かって進み続けるレッスンでした。

○日程＝毎週土曜日18:00〜19:30(1時間30分・月4回・軽食つき)
○受講の目安＝高校生・大学生／年48回開催

4月　「自分デザイナーになろう」	**10月　「自信と夢をデザインしよう」**
5月　「夢を考えよう」	**11月　「勉強をデザインしよう」**
6月　「自分をデザインしよう」	**12月　「クリスマス会をデザインしよう」**
7月　「自分をデザインしよう」	**1月　「将来をデザインしよう」**
8月　「自分をデザインしよう」	**2月　「将来をデザインしよう」**
9月　「自分をデザインしよう」	**3月　「将来をデザインしよう」**

●参加者の声〈デザイン国語研究レッスン 体験型発表会後の保護者の振り返りより〉

○自分の意見をまとめて「だから」「なぜなら」などのワードを用いて相手に伝えることができて、すごいと感じました。相手に伝えることはおとなになってもできない人は多いものです。このレッスンを通して、これからの社会を生きていく上で大切なものを磨いてほしいと思いました。(Mさん)

○非常に高度でとても有意義なレッスンだと感じました。子どもたちだけでなく、一般の社会人にこそ必要のあるレッスンだと思いました。子どものスキルの高さに驚きました。今からこのレベルのレッスンをしているなら、おとなになったら絶対生きていける！と、こんな教育を受けている子は他にいないよ。おとなになって皆、必死で学んでいるくらいなんだから。これからも頑張ってください。(Mさん)

●U18クリエイティブキャンプ2018に参加しました。

7月28日㊏～31日㊋、子どもデザイン教室の高校生3人は公募事業「U18クリエイティブキャンプ2018」に参加しました。キャンプの内容は、秋田県里親連合会と共同して「秋田県里親啓発ゆるキャラシンボルマーク」を作ることでした。このゆるキャラを秋田県内に普及させることで、里親の認知度を高め、1人でも多くの子どもが家庭的な環境で暮らせるようにしたいと企画しました。優勝こそは逃しましたが、子どもたちの成長が目に見えて分かる貴重なコンテストでした。

●クリスマス会を開催しました。

12月9日㊐、南田辺会館 老人憩いの家で開催した子どもデザイン教室のクリスマス会。2018年度は2回にわけて開催しないといけないほど大所帯になりました。でも、その分1人1人の子に目が届き、近年で一番心の通う創設当時の雰囲気を漂わせたクリスマス会になりました。チーム名を話し合って決める「モニュメント作り」、お菓子箱の高さを競う「おかしなじかん」、描いた絵を当て合う「生きもの探し」、賞品が一杯の「名前ビンゴ」、最後に理事からお菓子のプレゼントを貰ってホクホクの一日でした。

●日本子ども虐待防止学会 岡山大会でシンポジウムに登壇しました。

12月1日㊏、岡山県の川崎医療福祉大学で開催された日本子ども虐待防止学会 岡山大会でシンポジウム「福祉×教育×デザイン 社会的養護の子どもの自己肯定感を育むデザイン国語レッスンという挑戦」に登壇しました。

相手に「なるほど」と思われる話し方は、とりわけ将来の困難が予想される社会的養護児童には重要で、自信に繋がります。そこで社会的養護児童に「デザイン思考による遊び感覚の国語学習支援」を無料で開催し、論理的に聞き、話す力を育てました。本シンポジウムはその成果発表でした。

大阪府立大学の伊藤嘉余子先生、今宮工科高校の井上翔一先生、藤井寺支援学校の藤井健志先生が入念にご準備くださったお陰で、聴講の方々の強い熱意を感じました。最後の質疑応答も活発で、成果のあるシンポジウムになりました。

●子どもデザイン教室の発表会を開催しました。

子どもデザイン教室の2018年度を締めくくる発表会「こどランド」を開催しました。「デザイン国語研究レッスン」の体験型発表会、「造形工作レッスン」の参加型展示会、そして「グッズデザインレッスン」の商品販売会と盛りだくさんの内容でした。会場の南田辺会館 老人憩いの家には3日間で約270人ほどの参加者・ご来場者にお越し頂きました。ご近所の方々、遠くはわざわざ東京からやFM COCOLOの放送を聞いた方もいらっしゃいました。

デザイン国語研究レッスン 体験型発表会

○日時＝2019年3月21日㊍10:00〜12:00

レッスンの主旨説明や言葉で描く絵本のプレゼンテーション、目でわかるディスカッションの世界など、参加者が実際に国語レッスンの内容を体験できる発表会を開催しました。参加者の反響も大変高く、レッスンの意義を深くご理解頂けた発表会でした。

造形工作レッスン 参加型展覧会

○日時＝2019年3月23日㊏・24日㊐10:00〜12:00

春夏秋冬をテーマに子どもたちが共同制作した作品を展示し、子どもたちが出題者になって来場者と生きもの探しゲームをしました。レッスンの主旨をご説明し、皆でお絵描きや工作をし、ゲーム感覚で対話や発表を楽しむ参加型の展示会でした。

グッズデザインレッスン 商品販売会

○日時＝2019年3月23日㊏・24日㊐14:00〜16:00

毎年大好評の商品販売会。今年は教室のキャラクター、あっちゃんクッキーやトイレットペーパーなど、品数を増やしました。恒例の葉書・ピンバッジ・絵本・アクセサリー・お人形なども大好評でした。飲食ブースではフランクフルトやジュースを販売し、憩いのひとときを提供しました。

○収入＝　248,300円

○支出＝　207,200円 自立基金

41,100円 経費（一部）

○ご寄付＝　5,035円

○飲食収入＝22,650円

【P20Ⓐ注記】2018年度 決算報告書雑収入 561,450円の内訳

2017年度 商品販売会収入	280,500円
2018年度 大阪府立大学収入	10,000円
2018年度 商品販売会収入（上記）	248,300円
2018年度 飲食ブース収入（上記）	22,650円

自立支援：子どもデザイン基金事業の活動報告

●活動説明会「こどカフェ」を開催しました。

偶数月の第4日曜日（一部土曜日）、私たちの取り組みの意義や方法、レッスンで子どもたちがどう変わるのか？など、子どもデザイン教室の活動説明会を開催しました。親と暮らせない子どもたちの今を知るユニークな説明会でした。ご参加の皆様にはキッズサポーター会費（賛助会員費）をご寄付頂きました。年6回開催し、参加者の合計は17名様でした。

●「笑顔一丁」を開催しました。

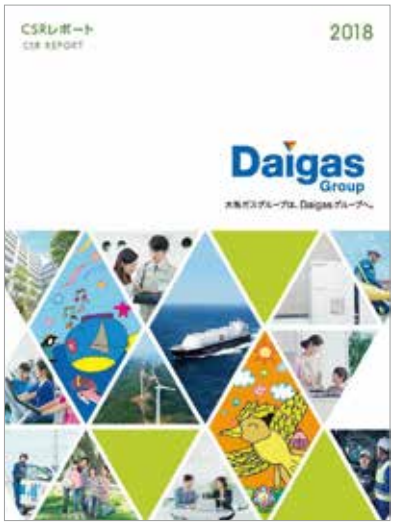
11月11日㊐、絶好の晴天に恵まれ、吹田市の児童養護施設 常照園「園祭」で、似顔絵＋ラーメンレストランチェーン店 まこと屋の牛骨ラーメンのコラボ企画「笑顔一丁」を開催しました。ラーメンの売り上げは全て常照園に寄付しました。熱い志の似顔絵ボランティアの皆さん、マコトフードサービスの皆さんと共に存分に楽しみました。

●阪急百貨店「H2Oサンタ NPOフェスティバル」に参加しました。

7月14日㊏～16日㊊と2019年1月19日㊏～21日㊊、阪急百貨店うめだ本店の9F祝祭広場で開催された「H2Oサンタ NPOフェスティバル」に参加しました。特に7月15日㊐と2019年1月20日㊐には大阪市立扇町総合高校の吹奏楽部オーギーズと一緒に子どもデザイン教室の紹介と演奏会をしました。たくさんのお客さんを前にした若さ溢れる演奏で会場は熱気に溢れ、大盛り上がりでした。

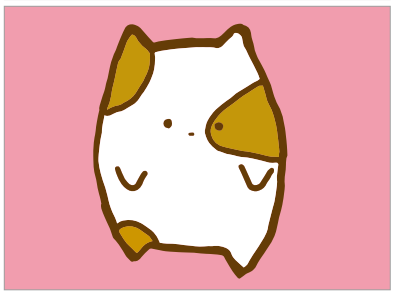
●微笑ましい社会貢献「こどキャラ」のご注文を頂きました。

こどキャラは、親と暮らせない子どもたちとプロのデザイナーが共同制作したキャラクターイラストです。ちょっとくずれたユニークなキャラクターが笑いを誘います。注目率が高く、また、社会的養護児童の啓発にも繋がる社会貢献イラストとしてパンフレットやシンボルマークにご利用頂きました。



○目標＝390,000円
○売上＝544,056円（達成率140%）
○内訳＝自立基金 112,500円（21%）
学習基金 430,956円（79%）
543,456円
その他 600円

【P20Ⓑ注記】2018年度 決算報告書自立基金 602,000円の内訳
2017年度 商品販売会自立基金 282,300円
2018年度 商品販売会自立基金 207,200円
2018年度 こどキャラ自立基金（上記）112,500円

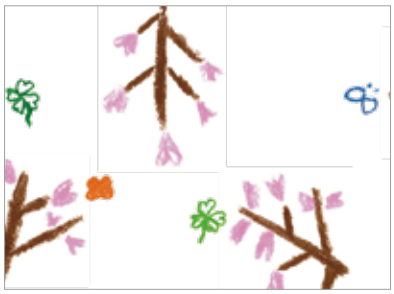


●ご寄付部門

ホームページから自動継続の寄付システムを始め、輸出梱包株式会社様・阪急阪神ホールディングス様・株式会社泉州様・一般財団法人H2Oサンタ様・ヤフー株式会社様（ヤフーネット基金）・ソフトバンク株式会社様（ソフトバンクかざして募金）・株式会社ワークス様・株式会社蓬莱様・株式会社ベネフィットワン様・株式会社摂津金属工業所様・イーサポート株式会社様・ダイゴー株式会社様・大阪ガス株式会社様・大阪ガスビジネスクリエイト株式会社様からご寄付を頂きました。〈順不同〉

○目標＝1,854,000円
○合計＝3,706,507円（達成率200%）／**個人223人・法人15社**

○内訳＝正会員費	**10,000円**	**10人**
キッズサポーター会費（受講会員）	**276,000円**	**81人**
キッズサポーター会費（一般会員）	**382,700円**	**113人**
キッズサポーター会費（個人継続会員）	**379,000円**	**19人**
キッズサポーター会費（法人継続会員）	**240,000円**	**1社**
法人ご寄付	**2,382,263円**	**14社**
その他	**36,544円**	



●ご寄贈部門

○計画＝100,000円

○実績＝181,960円相当（達成率182%）

フードバンク大阪様を始め、ご寄贈くださった多くの皆様に厚くお礼を申し上げます。

●助成金部門

◎計画＝5,239,040円

◎合計＝4,128,000円（達成率79%）

◎内訳＝内閣府子供の未来応援基金　2,928,000円

大阪市市民活動助成事業　1,000,000円

U18クリエイティブキャンプ2018　200,000円

●広報部門

4月24日㊋　朝日新聞大阪本社版 夕刊に子どもデザイン教室の記事が掲載されました。

5月26日㊏　「H2Oサンタ活動報告」に掲載されました。

5月30日㊌　「全国里親便り」に掲載されました。

6月13日㊌　大阪市ボランティア市民活動情報センターの情報誌「COMVO」に掲載されました。

3月14日㊌　FM COCOLO「Pacific Oasis」で発表会の予告が放送されました。

●講演・報告部門

4月6日㊎　大阪市の「大阪市市民活動推進助成事業」の報告会に出席しました。

4月18日㊎　マコトフードサービスの経営発表会で講演しました。

5月15日㊋　神戸市シルバーカレッジで講演しました。

6月30日㊏　東京の武蔵大学で講演しました。

7月9日㊊　大阪ガスの「クッキングスクール淀屋橋」で講演しました。

7月14日㊏～16日㊊　阪急百貨店で「H2Oサンタ NPOフェスティバル」に参加しました。

9月14日㊎　阪急阪神ホールディングスの「未来のゆめまち基金」報告会に出席しました。

9月30日㊐　似顔絵ボランティア「うちはにがおえやさん」は台風の為、中止になりました。

11月1日㊍　大阪市の「大阪市市民活動推進助成事業」の中間報告会に出席しました。

11月9日㊎　こども相談センターの「里親研修会」にゲスト参加しました。

12月1日㊏　児童虐待防止学会 岡山大会でシンポジウムに登壇しました。

12月17日㊊ こども相談センターの「自立支援部会」に出席しました。

1月19日㊏～21日㊊　阪急百貨店で「H2Oサンタ NPOフェスティバル」に参加しました。

●ニュース部門

年12回、お名刺を交換した994名の方に、ニュースメールを配信しました。また、継続会員様、高額会員様、ボランティアの皆様、活動説明会「こどカフェ」ご参加者など79名の方には、より詳細な活動をご報告する特別版ニュースメールを配信しました。

●理事会部門

年9回開催し、延べ出席者は47名でした。

養育支援：こどもサポートホーム事業の活動報告（個人事業）

●一に戻る

目黒区で5歳の舩戸結愛ちゃんがなくなった日は、偶然、私の誕生日です。あの事件のことがずっと心に突き刺さっています。私の年齢や健康を考えると、子育てができる残り時間はそう長くありません。結愛ちゃんのような子どもたちの無念に応えることをして子育てを終えたいと願っています。

11月1日、晴れて小規模住居型児童養育事業「こどもサポートホーム」を開設しました。大親友の「和田さん、社会福祉法人やりはったら？」のご提案からほぼ10年。そんな大きな施設ではありませんが、私なりの度量の小さな福祉施設の、私としては「家」の始まりです。年老いて呆けて、子どもの迷惑にならない限り続けていこうと心に決めました。

今回初めて国の社会福祉事業という制度を活かして、自分が本来したかった児童養育事業を始めました。これまでの失敗や反省、経験を活かして仕組み作りをしています。座組みこそ重要、人は風、終わりから考える、これらはこれまでの10年で得た私の教訓です。

これまで10年間、ずっと自分の限界を探してきました。それはお猪口ほど小さい自分の器と分かりました。そこでこれからの10年は、これまでの10年を逆戻しに反省しながら最適解を探す、そんな一に戻るような旅をしようを考えています。

●血縁がなくても繋がれる家族

①安全と安心、②子どもをみる、③深く考える、と毎日の暮らしは注意点だらけです。子どもの個性で生活は一変します。楽しみよりも不安の方が大きいですが、「子どもと話すときは笑顔で」接していけば、決して悪くはならないと信じています。

事業が始まり、新しい子どもが増えると、実子以外に私は6人の子どもの「父親」になります。血縁を大事にする日本社会において、家族に血縁は必要か？血縁がなくても繋がれる家族があるのでは？それこそが児童養護の未来ではないか？このテーマに答えを出したいと思います。

ファミリーホーム開設にあたっては「子どもが落ち着ける空間作りを」と思い、少ない予算の中で照明や家具に拘りました。魂は細部に宿るといいますが、その甲斐あってか、新しく来た子どもも気に入ってくれています。

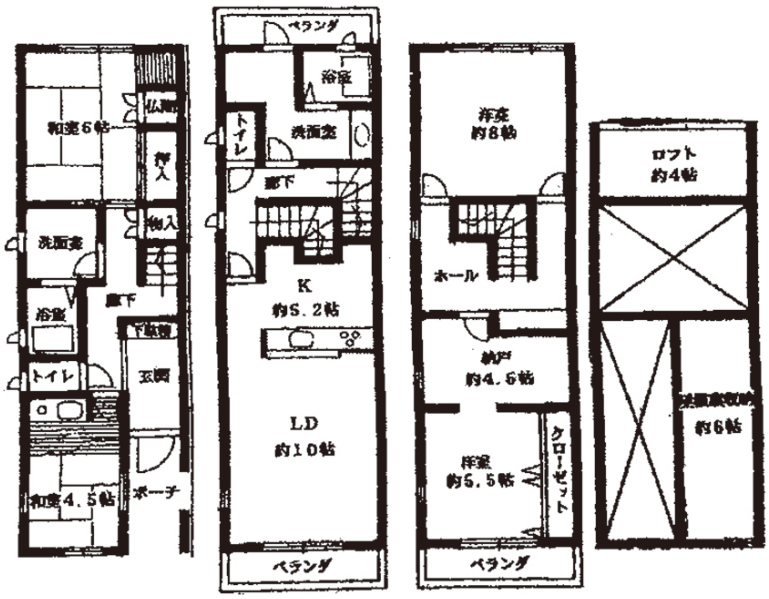
今回、私がファミリーホームを始められたのは、3人のお母さんスタッフのお陰です。この人たちがいなければ、到底ファミリーホームの開設には至りませんでした。この3人こそがこの事業の要です。子どもたちの気持ちにぴったりと寄り添って貰っています。

そして、私の前々からの消えない想いは、大学院で学ぶことです。児童養護を学術的に学び、現場で実践し、書物にして残す、そんな企みです。私のテーマは「教育と養育を組み合わせた里親という生き方」です。自分も子どもも社会も豊かになる生き方の実践と提言をしていきたいと考えています。

これ以上ない幸せな青空を見ていると、何だかわくわくしてきます。あと何年頑張れるかは分かりませんが、もうちょっと先に進みたいと思います。そのためには今まで構築してきた当たり前をもう一度ぶち壊し、また新たな学びを深めたい、そう考えています。

●開設に至る経緯

6月　自立援助ホーム こどもの里にお伺いしました。
　　大阪市こども青少年局と打合せを始めました。
7月　教室業務の忙しさから事業申請が滞りました。
8月　事業申請や防災・設備の打合せを進めました。
9月　賃貸契約をし、家具設備の購入を始めました。
10月　こどもサポートホームに引越しを始めました。
　　こどもサポートホームの認可を受けました。
　　3人目の児童の委託が始まりました。
11月　晴れて正式にオープンしました。
　　4人目の児童の委託が始まりました。
1月　5人目の児童の委託が始まりました。
2月　一時保護委託が始まりました。
3月　一時保護委託が終わりました。
　　6人目の児童の委託が始まりました。
　　仕事と暮らしを掛け合わせた新しい生き方を楽しんでいます。



2018年度 決算報告書

こどもサポートホーム事業は含まず

2018年度 決算報告書

2018年4月1日～2019年3月31日　　特定非営利活動法人子どもデザイン教室

収入の部			支出の部		
	予算	決算		予算	決算
前期繰越金	5,050,547	5,050,547	1 販売管理費		
			役員報酬	3,000,000	3,060,000
1 会費収入			給料手当	1,572,480	1,635,269
会員受取会費	5,811,264	5,769,132	法定福利費	300,000	487,496
			福利厚生費	50,000	32,000
2 事業収入			外注費	600,000	711,250
子どもデザイン基金事業	390,000	544,056	荷造運賃	10,000	2,371
			広告宣伝費	5,000	28,200
3 補助金収入			会議費	10,000	5,368
補助金・助成金	5,239,040	4,128,000	旅費交通費	200,000	430,608
			通信費	300,000	260,193
4 寄付金収入			消耗品費	2,300,000	1,310,279
寄付金	1,854,000	3,706,507	修繕費	1,000,000	0
			水道光熱費	200,000	155,519
5 その他の収入			新聞図書費	30,000	63,417
雑収入【P14Ⓐ注記】	0	561,450	諸会費	30,000	31,066
			支払手数料	150,000	126,384
			地代家賃	1,749,600	972,000
			賃借料	40,000	32,000
			保険料	0	24,890
			租税公課	80,000	70,000
			支払報酬料	1,089,600	400,000
			支援基金費【P14Ⓑ注記】	100,000	600,200
			寄付金	0	3,000
			減価償却費	320,000	320,262
			交際費	50,000	22,194
事業収入合計	13,294,304	14,709,145	販売管理費合計	13,186,680	10,783,966
6 営業外収益			2 営業外費用		
受取利息	0	38	支払利息	0	0
営業外収益合計	0	38	営業外費用合計	0	0
			当期純損益金額	107,624	3,925,217
			次期繰越金	5,158,171	8,975,764
合　計	18,344,851	19,759,730	合　計	18,344,851	19,759,730

上記のとおり相違ありません。

2019年5月19日

特定非営利活動法人子どもデザイン教室
監　事 畑山佳之

特定非営利活動法人子どもデザイン教室
代表理事 和田 隆博

2018年度 特定非営利活動に関わる事業会計の貸借対照表

こどもサポートホーム事業は含まず

2018年度 特定非営利活動に関わる事業会計の貸借対照表

2019年3月31日現在	特定非営利活動法人子どもデザイン教室		
科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金	297,080		
当座預金	651,412		
普通預金	5,491,937		
未収入金	1,421,440		
流動資産合計		7,861,869	
2 固定資産			
建物附属設備	1,046,650		
工具器具備品	443,293		
固定資産合計		1,489,943	
資産合計			9,351,812
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	321,567		
預かり金	51,481		
前受収益	3,000		
流動負債合計		376,048	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			376,048
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産			5,050,547
当期正味財産増加額			3,925,217
正味財産合計			8,975,764
負債及び正味財産合計			9,351,812

2018年度 その他事業会計の貸借対照表

こどもサポートホーム事業は含まず

2018年度 その他事業会計の貸借対照表

2019年3月31日現在	特定非営利活動法人子どもデザイン教室		
科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産			0
当期正味財産増加額			0
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

2019年度 活動計画書

教育支援：子どもデザイン教室事業の活動計画

●レッスンの縮小・深化から進化へ

2018年度は無事に1年間のカリキュラムを完了し、発表会も大成功に終わらせ、さらにこどもサポートホームを開設させるという実り多き1年でした。一方で、子どもデザイン教室とこどもサポートホームの両輪を同時に回すことに心身をすり減らした1年でもありました。このことから2019年度はレッスン数を減らし、大幅に受講生を減らしました。その狙いは規模を縮小させることでレッスンの深度を深めたかったからです。具体的には、これまで講師主体のレッスンから子どもたちが主体的に考えるレッスンへと転換を始めました。

受講生が減った原因はマンネリ化や潮目の変化もあります。このことから従来の単に商品を制作し、販売するレッスンは今期をもって終了し、プレゼンテーションを含めたより創造力・計画力・特に対話力を鮮明にしたレッスンへと進化させる必要があります。ただし、こうした他にないレッスンは保護者の理解が得にくいため、収益面を考えると、従来の地域限定の教室型レッスンでは限界があります。新しいレッスンを開発し、研究し、書籍化することで広く社会に普及させ、子ども全体の自己肯定感を高める活動へと進化する道筋を作りたいと考えます。

●レッスンの開発・研究・書籍化へ

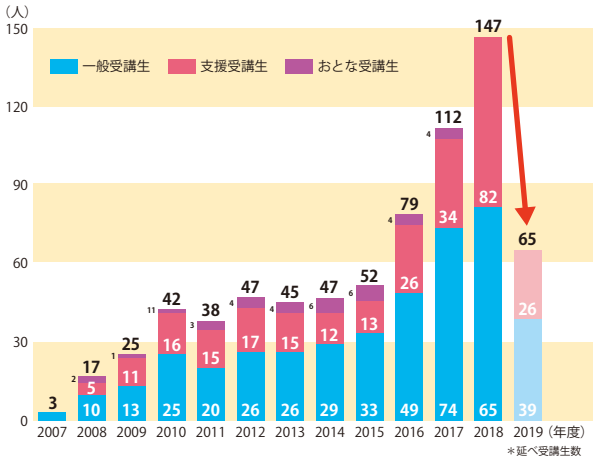
2018年度に開設したこどもサポートホームは、子どもデザイン教室の本来あるべき姿です。それは「教育には養育の視座が必要であり、養育には教育の視座が必要であり、この双方の視座を組み合わせることで、子どもは未来に向かって歩いていける」ことが実践できているからです。そこで2019年度から子どもデザイン教室では、こどもサポートホームと連動させ、教育と養育の実践と研究を深めます。長年のカリキュラム開発の結果、創造力・計画力・対話力の会得に一定の成果が見えてきました。そこで、さらなる研究と普及がこれからのテーマと考えます。

そのためにはこれまでの地域限定の教室型レッスンの拡大志向を改め、子どもデザイン教室とこどもサポートホームでの実践を学術的に研究し、書籍化を通して、次世代や広く社会に「子どもの自己肯定感を高めるデザイン教養育の意義や効能」を啓発していきます。将来的に子どもデザイン教室は出張レッスンや土曜レッスン、セミナーなどの活動を中心とし、寄附を集め、経費のかからない組織形態にし、社会的養護児童のみならず「子ども全体の自己肯定感を支援する団体」へと活動の領域を展開させていきます。

●2019年度の計画

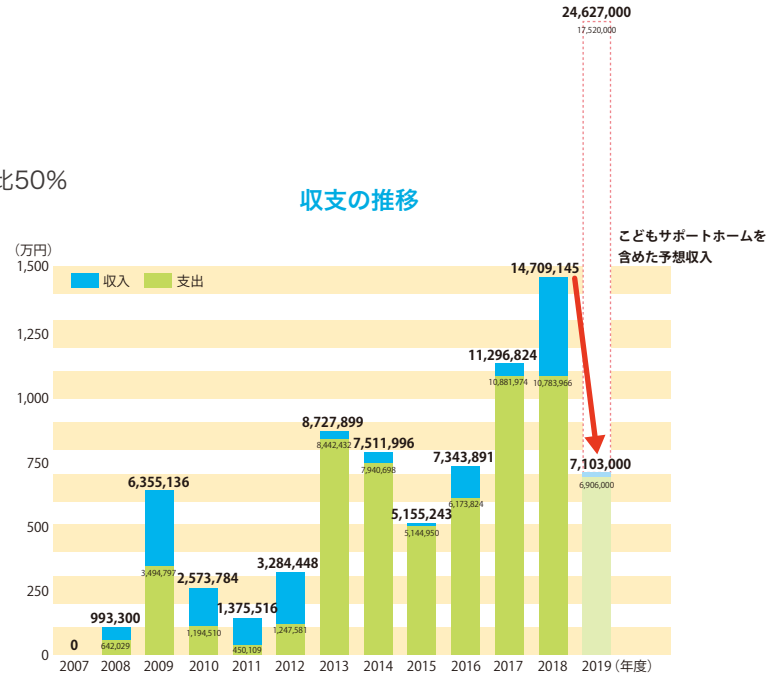
○受講生数＝65人／前年147人・前年比44%（期首比）
一般児童39人＋社会的養護児童26人／前年 一般児童65人＋社会的養護児童82人
○延べ受講生数＝2,184人／前年3,428人・前年比64%
一般児童1,872人（月4回として）＋社会的養護児童人312人／前年 一般児童2,321人＋社会的養護児童1,107人
○レッスン数＝28コマ／前年39コマ・前年比72%
○開講日数＝142日／前年190日・前年比75%
○開講回数＝319回／前年440回・前年比73%

受講人数の推移

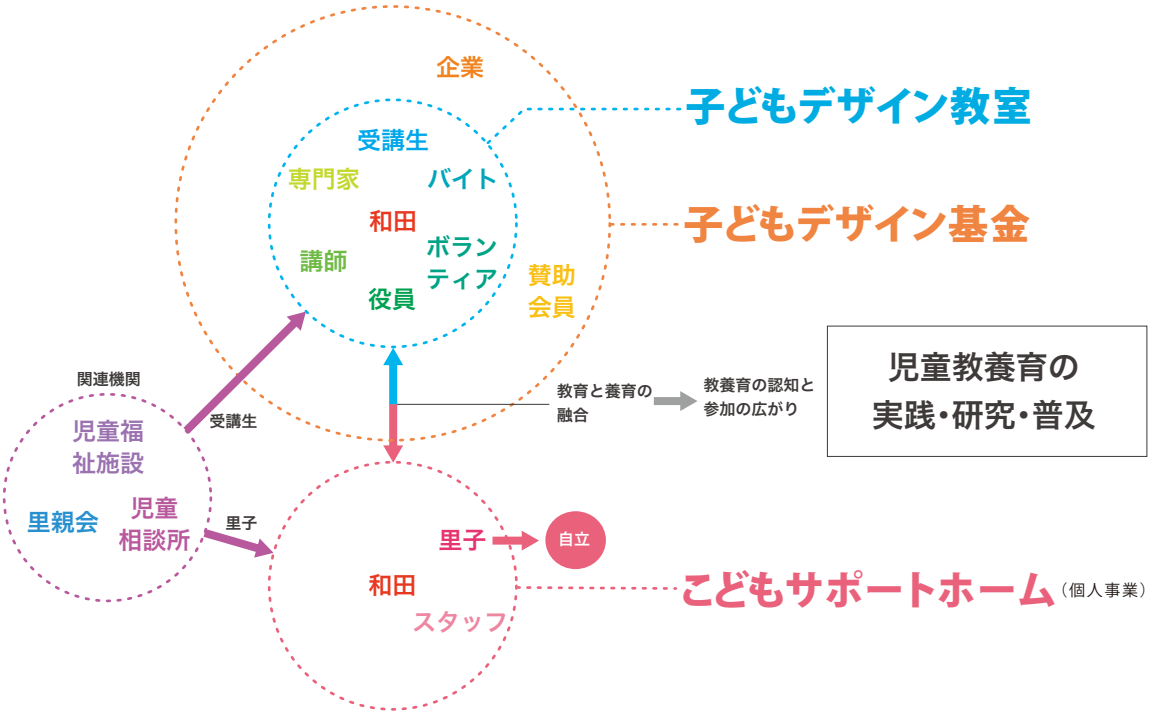


○収入＝7,103,000円／前年1,4709,145円・前年比48%
○内訳＝教室：　3,818,000円
こどキャラ：　540,000円
助成金：　0円
寄附：　2,545,000円
雑収入：　200,000円
○支出＝6,906,000円／前年10,783,966円・前年比64%
○内訳＝人件費：　2,880,000円（和田1,920,000円＋山口480,000円＋学生480,000円）
管理費：　2,346,000円
消耗品費：　920,000円（前年比70%）
外注費：　500,000円（前年比70%）
支援基金費：260,000円
○利益＝197,000円／前年3,925,217円・前年比50%

収支の推移



子どもデザイン教室の概念図



●新レッスンの狙い

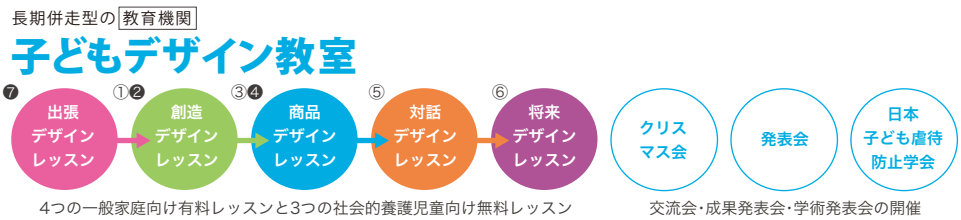
2019年で創設13年目を迎えた子どもデザイン教室。2019年度は幼保育園児から大学生まで繋がる4つの「遊び×学びレッスン」を開催します。また、そこに繋がる社会的養護児童専用の出張レッスン、2つの特別レッスンをします。「遊び×学びレッスン」は、お絵かき・立体などの創造する楽しさを知るレッスンに始まり、キャラクター商品を制作・販売するレッスン、勉強よりも苦手な対話力をつけるレッスン、自分の将来をデザインするレッスンの4つです。

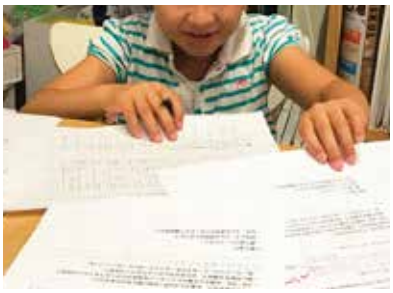
子どもデザイン教室で子どもたちは自ら主体的に考え、学ぶ方法を学びます。このことが子どもの自信や自己肯定感を高め、勉強や生活、さらには明日をよりよくする力になります。そして、自分の人生が設計できる人「自分デザイナー」をめざします。2019年度は創造できる子、計画できる子、対話できる子になるというゴールをより明確にします。子どもデザイン教室はお絵描き教室ではありません。学校でも家でも施設でもない第3の居場所として、物事をデザイン（企画・設計）する学習教室です。

①創造デザインレッスン／❷創造デザイン特別レッスン

本レッスンでは上位の商品デザインレッスンの要素を取り入れます。商品デザインレッスンのジュニア篇として自分のキャラクターを元にした作品を作ります。また、季節の共同制作などを通して、自分の考えを絵や文字で伝え、創造する力を学びます。2019年3月20日㊎・22日㊐に体験型発表会をします。

○日程＝①通常レッスン：毎週土曜日9：00～10：00・10：30～11：30（各1時間・月4回）／❷特別レッスン：偶数月第3土曜日14：00～16：00（社会的養護児童専用）
○料金＝月会費8,640円（税込・10月～8,800円）／年会費3,000円（社会的養護児童は年会費のみ）
○受講の目安＝幼保育園児・小学生
○募集人員＝1回10名（振替は4名まで・特別レッスンは振替なし）
○行程（仮）＝①通常レッスン：4月 キャラクターをつくろう／5月 はがきをつくろう／6月 おかしをつくろう／7月 ピンバッジをつくろう／8月 なつをつくろう／9月 えほんをつくろう／10月 ゲームをつくろう／11月 あきをつくろう／12月 おりょうりをつくろう・クリスマスかい／1月 ふゆをつくろう／2月 えほんをつくろう／3月 おみせをつくろう・たいけんはっぴょうかい
❷特別レッスン：4月 キャラクターをつくろう／6月 おかしをつくろう／8月 ピンバッジをつくろう／10月 ゲームをつくろう／12月 おりょうりをつくろう・クリスマスかい／1月 ふゆをつくろう／2月 えほんをつくろう／3月 たいけんはっぴょうかい





③商品デザインレッスン／❹商品デザイン特別レッスン

本レッスンでは自分のキャラクターをモチーフにして、葉書・ピンバッチ・お人形・アクセサリーなどを作ります。後半は子どもたちの発想でオリジナルゲームの企画・制作をします。2019年度は上位の対話レッスンの要素も取り入れ、子どもが勉強よりも苦手な「対話する力」を育てます。2019年3月20日㊎・22日㊐に販売型発表会をします。

○日程＝③通常レッスン：毎週火曜日18：00～19：00・毎週木曜日16：30～17：30・18：00～19：00・毎週土曜日12：00～13：00（各1時間・月4回）／❹特別レッスン：奇数月第3土曜日14：00～16：00（社会的養護児童専用）
○料金＝月会費8,640円（税込・10月～8,800円）／年会費3,000円（社会的養護児童は年会費のみ）
○受講の目安＝小学生・中学生
○募集人員＝1回10名（振替は4名まで）
○行程（仮）＝③通常レッスン：4月 キャラクターをデザインしよう／5月 葉書をデザインしよう／6月 お菓子をデザインしよう／7月 ピンバッジをデザインしよう／8月 アクセサリーをデザインしよう／9月 お人形をデザインしよう／10月 商品をデザインしよう／11月 商品をデザインしよう／12月 お料理をデザインしよう・クリスマス会／1月 商品をデザインしよう／2月 商品をデザインしよう／3月 お店をデザインしよう・販売型発表会
❹特別レッスン：5月 キャラクターで葉書をデザインしよう／7月 ピンバッジをデザインしよう／9月 アクセサリーをデザインしよう／11月 お人形をデザインしよう／12月 クリスマス会／1月 絵本をデザインしよう／3月 お店をデザインしよう・販売型発表会

⑤対話デザインレッスン

勉強より苦手な話す力を身につけるレッスンです。相手に「なるほど」と思われる論理的な話し力は「困難を乗り越える力」として日常生活に生かされ、自己肯定感を高めます。大阪府立大学 人間社会システム科学研究科のご協力で開催します。12月22日㊐に日本子ども虐待防止学会での発表会、2019年3月21日㊏に参加型発表会をします。

○日程＝第2土曜日17：30～19：30（2時間・月1回）
○料金＝月会費2,160円（税込・10月～2,200円）／年会費3,000円（社会的養護児童は年会費のみ）
○受講の目安＝中学生・高校生
○募集人員＝10名（振替なし）
○行程（仮）：4月 仲良くなろう～オリエンテーション／5月 詳しく・まとめて話そう～論理的思考①／6月 比べて話そう～論理的思考②、自分で名著を創ろう～文の構造、主語・述語・目的語、文の書き換え／7月 原因・結果で話そう～論理的思考③／8月 体験・引用・比喩で話そう～論理的思考④、大阪弁で名著を話そう～長文・要約文、接続語・指示語／9月 事実・意見・理由を話そう～論理的思考⑤／10月 言葉を絵で・絵を言葉で話そう～描写・説明技能／11月 言葉で描こう絵本の世界～プレゼンテーション／12月 答えのない問題を話そう～ディスカッション、クリスマス会、日本子ども虐待防止学会発表会／1月 他者理解しよう～ディベート／2月 合意形成しよう～ファシリテート／3月 参加型発表会

⑥将来デザインレッスン

受講生が一生読むことはないだろう本を毎月1冊選び、その題材をワールドカフェ形式で思考し、対話します。ほかにもゲスト講師による講義もあります。自立後を幸せに生きる力を身につけるために、自分の将来が設計できる「自分デザイナー」になるレッスンです。教室のイベントのサポートや自由時間に作品作りもできます。

○日程＝第4土曜日17:30〜19:30（2時間・月1回）
○料金＝月会費2,160円（税込・10月〜2,200円）／年会費3,000円（社会的養護児童は年会費のみ）
○受講の目安＝高校生・大学生
○募集人員＝10名（振替なし）
○行程（仮）＝4月 バートランド ラッセル「幸福論」／5月ジェリー ミンチントン「うまくいっている人の考え方」／6月 アルフレッド アドラー「人生の意味の心理学」／7月 サン テグジュペリ「星の王子さま」／8月 三木 清「人生論ノート」／9月 ヤニス バルファキス「父が娘の語る経済の話」／10月〈未定〉／11月〈未定〉／12月〈未定〉・クリスマス会／1月〈未定〉／2月〈未定〉／3月〈未定〉・発表会
○特典＝商品を作ってもよいし、勉強をしてもよい自由な時間をレッスン前に設けます。
○日程＝第4土曜日16:30〜17:30（1時間・月1回）
○材料費＝1回500円（商品を作る場合のみ必要）

❼出張デザインレッスン

わざわざ子どもデザイン教室に出掛けなくても、児童福祉施設や児童相談所で子どもデザイン教室のユニークなレッスンが体験できます。田島童園・常照園・入舟寮などの児童養護施設で開催の予定です。また、大阪市里親会と共同で「対話デザインレッスン」の開催も企画します。

○日程＝偶数月第1日曜日14:00〜16:00（2時間・2ヶ月に1回）
○料金＝月会費無料／年会費無料（社会的養護児童専用）
○受講の目安＝小学生・中学生
○募集人員＝1回10名（振替なし）
○行程（仮）＝4月 キャラクターをデザインしよう／6月 ピンバッジをデザインしよう／8月 アクセサリーをデザインしよう／10月 お人形をデザインしよう／12月 クリスマス会／2月 絵本をデザインしよう

●クリスマス会「こどパーティ」を開催します。

12月15日㊐、南田辺会館 老人憩いの家でクリスマス会「こどパーティ」を開催します。画用紙を折って高さを競う「オオ！まサカタワー」、描いた絵を当て合う「生きもの探し」、手作りプレゼントを交換する「名前ビンゴ」など盛りだくさんの内容です。

●発表会「こどランド」を開催します。

2019年度を締めくくる発表会「こどランド」を南田辺会館 老人憩いの家で開催します。「創造デザインレッスン」は2020年3月20日㊎・22日㊐に体験型発表会を開催します。「商品デザインレッスン」も2020年3月20日㊎・22日㊐に販売型発表会を開催します。「対話デザインレッスン」は2020年3月21日㊏に参加型発表会を開催します。「将来デザインレッスン」は発表会全体をサポートします。

●日本子ども虐待防止学会で発表会をします。

12月22日㊐神戸国際会議場・神戸ポートピアホテルで開催の「日本子ども虐待防止学会 第25回学術集会ひょうご大会」で「対話デザインレッスン」の発表会をします。2018年度に引き続き2回目の発表で、今後の書籍化も踏まえてレッスンの進化と効果を発表します。

開講日のご案内

土曜日○＝創造デザインレッスン／火曜日○・木曜日○・土曜日○＝各商品デザインレッスン
第2土曜日＝対話デザインレッスン／第4土曜日＝将来デザインレッスン
偶数月第3土曜日＝創造特別デザインレッスン／奇数月第3土曜日＝商品特別デザインレッスン
偶数月第1日曜日＝出張デザインレッスン

2019

4

日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	対話
14	15	16	17	18	19	20	創造特別
21	22	23	24	25	26	27	将来
28	29 出張	30					

5

日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	対話
12	13	14	15	16	17	18	商品特別
19	20	21	22	23	24	25	将来
26	27	28	29	30	31		

6

日	月	火	水	木	金	土	
						1	
出張 2	3	4	5	6	7	8	対話
9	10	11	12	13	14	15	創造特別
16	17	18	19	20	21	22	将来
23	24	25	26	27	28	29	
30							

7

日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	対話
14	15	16	17	18	19	20	商品特別
21	22	23	24	25	26	27	将来
28	29	30	31				

8

日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	
出張 4	5	6	7	8	9	10	対話
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	創造特別
25	26	27	28	29	30	31	将来

9

日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	対話
15	16	17	18	19	20	21	商品特別
22	23	24	25	26	27	28	将来
29	30						

10

日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	
出張 6	7	8	9	10	11	12	対話
13	14	15	16	17	18	19	創造特別
20	21	22	23	24	25	26	将来
27	28	29	30	31			

11

日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
出張 3	4	5	6	7	8	9	対話
10	11	12	13	14	15	16	商品特別
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	将来

12

日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	対話
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	創造特別
22	23	24	25	26	27	28	将来
29	30	31					

クリスマス会

2020

1

日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	対話
12	13	14	15	16	17	18	商品特別
19	20	21	22	23	24	25	将来
26	27	28	29	30	31		

2

日	月	火	水	木	金	土	
						1	
出張 2	3	4	5	6	7	8	対話
9	10	11	12	13	14	15	創造特別
16	17	18	19	20	21	22	将来
23	24	25	26	27	28	29	

レッスン日

3

日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	対話
8	9	10	11	12	13	14	商品特別
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	将来
29	30	31					

創造・商品レッスン発表会
対話レッスン発表会
創造・商品レッスン発表会

自立支援：子どもデザイン基金事業の活動計画

●基金の主旨

子どもデザイン基金事業の柱の一つは、企業・団体と共同して、親と暮らせない子どもたちの自立基金と学習基金を創出する「こどキャラ」事業です。2019年度はセレッソ大阪様、マコトフードサービス様と共同して、社会体験型福祉事業や児童養護施設訪問を実施します。

もう一つの柱は、寄付金・助成金・寄贈品を集めるファンドレイジング事業です。SNSによる情報発信やイベント・講演の開催、活動説明会「こどカフェ」を隔月で実施し、賛助会員「キッズサポーター」を増やし、共感の輪を広げていきます。

●活動説明会「こどカフェ」を開催します。

子どもデザイン教室において活動説明会「こどカフェ」を開催します。私たちの取り組みの意義や方法、親と暮らせない子どもたちの今を知って頂く説明会です。すでに2019年度のキッズサポーター会費、年会費をお支払いの方や継続会員様は無料です。この機会を通じて、毎月ご支援頂ける継続会員様を増やしていく計画です。

○日時＝偶数月第4土曜日（一部日曜日）14：00～16：00
○目標＝12人（年6回×各2人）
○参加費＝3,000円以上（キッズサポーター会費・寄付金として）

●企業・団体様からのご寄附を増やします。

ホームページから自動継続の寄付システムを始め、ヤフー株式会社様のヤフーネット基金、ソフトバンク株式会社様のソフトバンクかざして募金、企業・団体様からのご寄付を増やし、親と暮らせない子どもたちへの支援の輪を広げていく予定です。

●福祉型キャラクタービジネス「こどキャラ」を実施します。

「こどキャラ」とは、親と暮らせない子どもたちとプロのデザイナーが共同制作したキャラクターイラストやシンボルマークです。ちょっとくずれたユニークさが笑いを誘います。注目率が高く、社会的養護児童問題の啓発に繋がります。2019年度も大阪ガス様・551蓬莱様・林ケミック様などの企業・団体様と共同の予定です。また、個人の方にはユニークなキャラクターが認知度を高め、広告・広報効果の高い「こどキャラ名刺」を販売します。

●セレッソ大阪様と募金活動「うちはにがおえやさん」を開催します。

セレッソ大阪様、似顔絵ボランティアの皆さんのご協力を得て、ヤンマースタジアム長居のイベント広場で、サッカーの熱戦にぴったりのうちわに似顔絵を描いて販売します。その利益は親と暮らせない子どもたちの自立基金にします。他にも8月4日㊐、大阪ガス様のハグミュージアムでも開催の予定です。

●まこと屋様とラーメンと似顔絵で笑顔を届ける「笑顔一丁」を開催します。

京阪神と台湾でラーメンレストランチェーン店 まこと屋を展開するマコトフードサービス様との共同で児童養護施設を巡り、おいしいラーメンと似顔絵ボランティアによる似顔絵コーナーをご提供します。2019年度は11月10日㊐、児童養護施設の常照園で開催の予定です。ご希望の児童養護施設さんは遠慮なくお声掛けください。

●阪急百貨店「H2Oサンタ NPOフェスティバル」に参加します。

阪急百貨店うめだ本店の9F祝祭広場で開催される「H2Oサンタ NPOフェスティバル」に参加します。大阪市立扇町総合高校の吹奏楽部オーギーズによる演奏会と子どもデザイン教室の活動紹介をし、親と暮らせない子どもたちへの理解を深めます。今後は子どもたちのプレゼンテーションや商品販売会、ミニ教室も開催の予定です。

●こどキャラ部門

○前年＝544,056円

○目標＝540,000円（前年比99%）

○内訳＝120,000円×3口＝360,000円

30,000円×6口＝180,000円

○目的＝親と暮らせない子どもたちの自立基金 108,000円（20%）

親と暮らせない子どもたちの学習基金 432,000円（80%／約50ヶ月・4人分の年間受講料）

○施策＝FacebookなどSNSでの情報発信

ホームページの改良

イベント・講演会での広報活動

【P34©注記】2019年度 活動予算書自立基金　260,000円の内訳

2019年度 こどキャラ自立基金（上記）110,000円

2019年度 商品販売会自立基金　150,000円

●ご寄付部門

○前年＝3,706,507円／個人223人・法人15社

○目標＝2,545,000円（前年比69%）／個人200人・法人14社

○内訳＝正会員費　10,000円 10人

キッズサポーター会費（受講会員）　204,000円 65人

キッズサポーター会費（一般会員）　370,000円 110人

キッズサポーター会費（個人継続会員）341,000円 15人

キッズサポーター会費（法人継続会員）240,000円 1社

法人ご寄付　1,380,000円 13社

○目的＝親と暮らせない子どもたちの学習資金（約294ヶ月・24人分の年間受講料）

○施策＝FacebookなどSNSでの情報発信

ホームページの改良

イベント・講演会での広報活動

●ご寄贈部門

○前年＝181,960円

○目標＝200,000円相当（前年比110%）

○目的＝おやつ代・クリスマス会でのプレゼント寄贈

○施策＝FacebookなどSNSでの情報発信

ふーどばんくOSAKA様からのご寄贈

●助成金部門

○予定＝0円

●広報部門

FacebookなどのSNSやホームページを活用して情報を発信し、広報・啓発活動を行います。

●講演部門

年6回程度で講演活動を行い、親と暮らせない子どもたちの問題や子どもデザイン教室の取り組みを講演します。2019年度は、6月11日㊋有希クリニック、6月18日㊋神戸シルバーカレッジ、7月5日㊎京都造形大学、8月5日㊊武蔵大学で講演の予定です。

●ニュース部門

年12回、活動説明会「こどカフェ」ご参加者様、ご寄付頂いた賛助会員「キッズサポーター」様、継続会員様、ボランティア様、ご協賛様など約80名の皆様に月ごとの活動報告としてニュースメールを配信します。

●理事会部門

毎月第1土曜日、子どもデザイン教室にて理事会を開催します。2019年度はホームページ、助成金、書籍化の各部会に分かれ、より実効性のある理事会にする計画です。

●スタッフ

○代表理事＝和田隆博〈有償〉
○理事＝西井廉剛・林田全弘・伊藤嘉余子・今中博之（名誉理事）
○監事＝畑山佳之（税理士）
○正会員＝和田隆博・西井廉剛・林田全弘・伊藤嘉余子・今中博之・畑山佳之・山本悦二・井上翔一・久保 晶・出口奈津子・島津侑花・船越哲子
○講師＝和田隆博〈有償〉
○事務＝山口杏子〈有償〉
○レッスン助手＝将来デザインレッスン生ほか〈有償〉
○レッスンアドバイザー＝伊藤嘉余子・井上翔一・藤井健志
○レッスン・イベントボランティア＝西井廉剛・伊藤嘉余子・井上翔一・久保 晶・出口奈津子・島津侑花・山本悦二
○経理ボランティア＝船越哲子
○助成金ボランティア＝西井廉剛
○WEBボランティア＝清水香苗
○似顔絵ボランティア＝長口守彦・吉田香菜恵・将来デザインレッスン生
○お遊び担当＝井上翔一
○継続会員・高額会員＝西井廉剛・浦田慎介・森田英美・柳瀬真佐子・大田香織・畠山義輝・栗本一美・原田佳子・中田成慶・園崎寿子・山本容子・船越哲子・山本紗弓・藤江博子・林田全弘・箱崎一江・佐々木道正・佐々木佳代子・川口学・大森史郎・新居 瞳
○法人会員＝輸出梱包株式会社
○企業協賛＝阪急阪神ホールディングス・株式会社泉州・一般財団法人H2Oサンタ・ヤフー株式会社（ヤフーネット基金）・ソフトバンク株式会社（ソフトバンクかざして募金）・株式会社ワークス・株式会社蓬莱・株式会社ベネフィットワン・株式会社摂津金属工業所・イーサポート株式会社・ダイゴー株式会社・大阪ガス株式会社・大阪ガスビジネスクリエイト株式会社
○連携＝大阪府立大学・大阪府立今宮工科高校・大阪府立藤井寺支援学校
聖家族の家・四恩たまみず園・常照園・入舟寮・助松寮・レバノンホーム・田島童園・東さくら園・南さくら園
大阪市里親会・大阪市こども相談センター
〈敬称略・順不同〉

養育支援：こどもサポートホーム事業の活動計画（個人事業）

●教室に通う親と暮らせない子がホームで暮らす意義

こどもサポートホームのような小規模住居型児童養育事業ファミリーホームが必要と考えたのは今から8年ほど前です。それは教室に通っていたある小学生の女の子の「なんもええことあらへん、生まれてこんかったらよかった」という呟きを聞いてからです。

そのひと言から私の生活はデザイナーから里親へと変わりました。それからことある毎に関係各所に「教室に通う子を里親として育てさせてほしい」とお願いしました。しかし、それは叶わぬ願いでした。そして8年が経ち、この度大阪府と大阪市の児童相談所の連携もあって、今では立派な高校生になった彼女を、私の手元で育てることになりました。諦めなければ夢は必ず叶います。その想いをまた実現した出来事でもありました。

子どもデザイン教室に通う親と暮らせない子がこどもサポートホームで暮らす意義は、これからの児童養護にあって大切な観点と考えます。それは「教育と養育を共にすることで子どもの自立が支援できる」からです。

●子どもデザイン教室とこどもサポートホームの連携

児童養護施設はその名の通り、養育と保護が専門です。少ない予算のなかで子どもの教育は学校や塾任せです。十分な教育のないところに大きな自立の木は育ちません。こどもサポートホームの子どもたちがすくすく育っているのは、教育者と養育者がうまく融合しているからです。

設備や食事などの環境と共に、誰がどう育てるかは重要です。私は教育とは「創造力・計画力・対話力が高い人を育てること」と考えています。創造力・計画力・対話力の高い人は結果的に学ぶ力、生きる力が高くなると考えています。

しかし、なぜか社会は、創造力・計画力・対話力といった「人生をデザインする力」を子どもに教えません。そしてまた、子どもデザイン教室の1時間程度のレッスンでも教えきれません。一般家庭の子どもでも忙しい毎日の中ではおざなりになっているのではないでしょうか。

とりわけ頼れる身内の少ない親と暮らせない子どもには困難でしょう。そこで私はこれからの社会的養護のあり方として、教育と養育の観点から子どもを育てることが必要と考えます。こうして実践的に子育てをすることが未来を生きる子どもへの知見になるのではと考えます。

●自己肯定感はどこで生まれるのか？

私は2007年から子どもデザイン教室でレッスンをしてきました。親と暮らせない子どもたちの口癖は「しらん、わからん、どうでもいい」です。わざわざレッスンに来るのに騒いでレッスンを受けなかったり、せっかく作った商品も壊したり、捨てたりします。

こうした状況の背景に親と暮らせない子どもの自己肯定感の低さを強く感じました。周りが怖くて何でもかんでもシャッターを下ろして自分の世界に立て籠もります。しかし、そんな子どもたちも5～10年くらい経つとやがて自分に自信を持ち始めます。

里親委託で育てる子どもたちの場合は3〜5年もすれば自分に自信を持ち始めます。しかし、どうして親と暮らせない子どもの自己肯定感はこんなに低いのか？何に原因があるのか？何が足りないのか？よく分からないでいました。4年ほど前、ある中学生がレッスンに通うようになりました。何にでも一生懸命取り組む姿にこの懸命さはどこからくるのか不思議に思っていました。最初はその子が生まれ持った才能かと思っていました。しかし、やがてその背後にその子の親の存在がとても大きくあることに気付きました。

●教育＋養育＝教養育論

それは、その親御さんに「教育者としての視座がある」ことだったのです。一方で学校はどうでしょう？私は2002年から高校でデザインの授業を担当しています。また時折、子どもの授業参観に行くことがあります。そうすると、ただただ教科書を読んでいるだけの授業に出くわすことがあります。

何の工夫もなく、ただただ時間をこなしているだけの授業。子どもへの共感とかクリエイティブな発想とかがまるでありません。教育者の頭の中に「もしこの子たちが自分の子どもだったら」という養育者としての視座がまるでないのです。

つまり、子どもが自ら前向きに生きていこうするためには、養育者（親・保護者・施設職員）には教育者の視座が必要で、また、教育者（教員）には養育者の視座が必要ではないか？その2つ、つまり養育と教育を重ね合わせた所で自己肯定感や生きる力、学ぶ力が醸成されるのではないか？と考えました。

教育＋養育＝教養育論。ぜひこのことを大学院で研究し、論文や書籍にして発表することで、親と暮らせない子ども、ひいては子ども全般の自己肯定感の問題に具体的な実践例として紹介したいと考えています。

●書籍化とセミナーの開催

今年58歳の私にはあまり時間が残されていません。記憶の糸がプツプツ途切れる今、早く教育のデザインと養育のデザインについて研究を進めたいと思います。これまで私は子どもデザイン教室で受講形式のレッスンをしてきました。しかし、そこには限界があります。なぜなら教育とは24時間365日繋がる連続性の中で始めて子どもは身につけるものです。学校の授業が多くの子どもたちの身につかない原因は、そんな当たり前のところにあるのではないでしょうか。

しかし今、こどもサポートホームを始めて、24時間365日繋がる教育が実践できます。そうすると、私がすべきことは教室の受講形式で良いのか？と思います。私がすべきことは、親・保護者・施設職員が家庭環境で気軽にできる対話法やレッスンを開発し、提供することではないかと考えます。ソーシャルペタゴジー（社会における子育て）という概念があるそうです。「教育は家庭でするもの」と考える私にとって今日的なテーマです。これまでの取り組みやこれからの提言を書籍化し、講演会やネット配信などの方法で啓発と普及にあたる、そんな企みが私自身の人生デザインです。

2019年度 活動予算書

こどもサポートホーム事業は含まず

2019年度 活動予算書

2019年4月1日～2020年3月31日　　特定非営利活動法人子どもデザイン教室

収入の部			支出の部		
	決算	予算		決算	予算
前期繰越金	5,050,547	8,975,764	1 販売管理費		
			役員報酬	3,060,000	1,920,000
1 会費収入			給料手当	1,635,269	960,000
会員受取会費	5,769,132	3,818,000	法定福利費	487,496	200,000
			福利厚生費	32,000	30,000
2 事業収入			外注費	711,250	500,000
子どもデザイン基金事業	544,056	540,000	荷造運賃	2,371	2,000
			広告宣伝費	28,200	0
3 補助金収入			会議費	5,368	5,000
補助金・助成金	4,128,000	0	旅費交通費	430,608	100,000
			通信費	260,193	260,000
4 寄付金収入			消耗品費	1,310,279	920,000
寄付金	3,706,507	2,545,000	修繕費	0	0
			水道光熱費	155,519	150,000
5その他の収入			新聞図書費	63,417	60,000
雑収入	561,450	200,000	諸会費	31,066	3,000
			支払手数料	126,384	120,000
			地代家賃	972,000	972,000
			賃借料	32,000	30,000
			保険料	24,890	24,000
			租税公課	70,000	50,000
			支払報酬料	400,000	0
			支援基金費【P30©注記】	600,200	260,000
			寄付金	3,000	0
			減価償却費	320,262	320,000
			交際費	22,194	20,000
事業収入合計	14,709,145	7,103,000	販売管理費合計	10,783,966	6,906,000
6 営業外収益			2 営業外費用		
受取利息	38	0	支払利息	0	0
営業外収益合計	38	0	営業外費用合計	0	0
			当期純損益金額	3,925,217	197,000
			次期繰越金	8,975,764	9,172,764
合　計	19,759,730	16,078,764	合　計	19,759,730	16,078,764

上記のとおり相違ありません。

2019年5月19日

特定非営利活動法人子どもデザイン教室
監　事 畑山佳之

特定非営利活動法人子どもデザイン教室
代表理事 和田 隆博

親と暮らせない子どもたちを支援する

特定非営利活動法人

子どもデザイン教室

Children Design Education

あたたかなごはんと ゆめみるみらいと

小規模住居型児童養育事業

こどもサポートホーム

Children Support Home

発行年：2019年6月30日／第2版
発行者：和 田 隆 博
発行所：特定非営利活動法人 子どもデザイン教室
〒546-0035 大阪市東住吉区山坂4-5-1
TEL 06-6698-4351　FAX 06-6698-4352
MAIL wada@c0d0e.com　URL c0d0e.com